

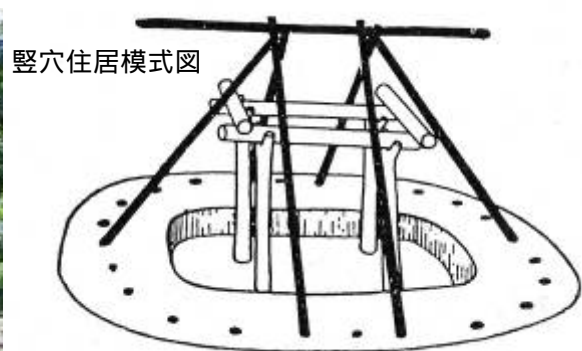
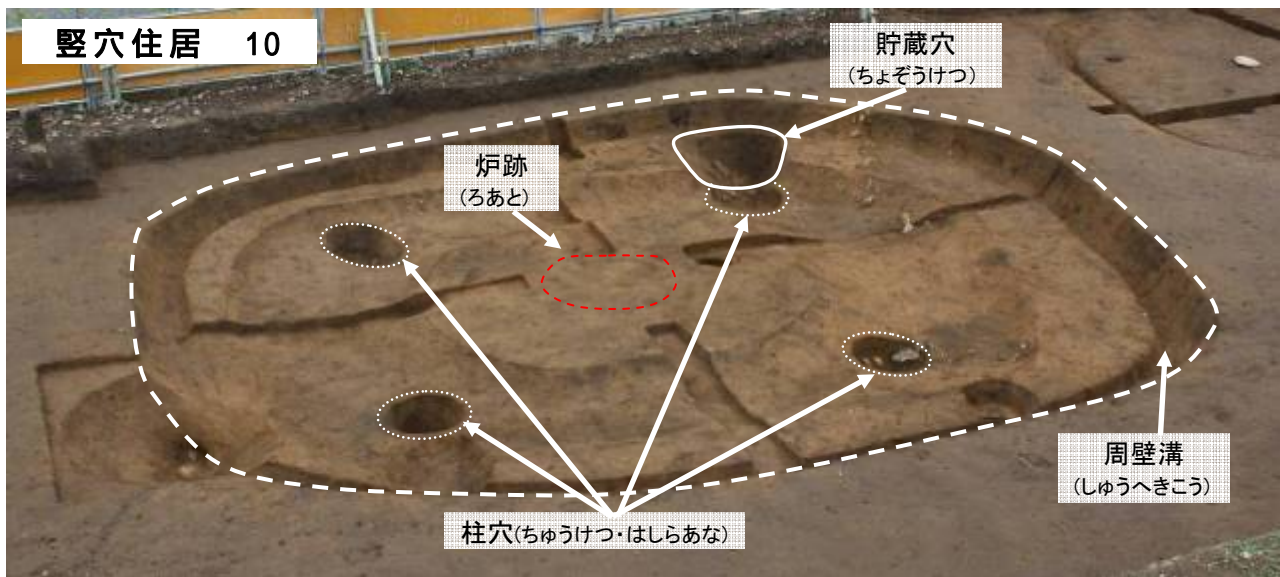
# 東原遺跡通信 No.4

ひがしぼらいせきつうしん

2009年9月11日

## いよいよA工区の調査も大詰めです

踏切北側長さ約120mにわたったA工区の調査もいよいよ終盤にさしかかり、調査区内の全体像がはっきりしました。結局、竪穴住居は17棟確認されました。そのほかにゴミ捨て場として使われ、大量の土器が出土した6号土坑をはじめ、7個の土坑、溝が3本、柱穴などを含む小穴が50個以上といった状況です。



竪穴住居は、地面を掘りくぼめて土間にするつくりの住居です。4か所の柱穴に柱を立て、梁を渡して屋根を掛けます。輪郭には溝を掘り、板を立て低い壁を作り、その外側に掘った土を盛り上げ雨水の浸入を防ぎます。

また、床面には、煮炊きをした炉の跡や、食料を保存した貯蔵穴などが見られます。



## 中瀬小学校が見学に来ました

9月3日(木)に4年生112人、9日(水)に6年生103人の児童のみなさんが東原遺跡を見学しました。自分たちの住んでいる地域に、1800年も前に人間が住み、大きな集落があったことを知って、多くの子どもたちが驚いていました。竪穴住居の構造やその中で人々がどんな生活を送っていたのか、説明を聞きながら想像したり、出土した土器を手に取り、じっくり観察したりして、熱心にメモをとっていました。



## 今後の予定

18日(金) A工区調査終了

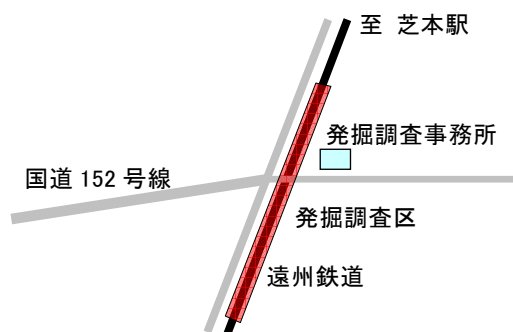
19日(土) 現地説明会

(午前10時、午後1時30分)

22日(火)~26日(土) フェンスの撤去・移設

28日(月)~ B工区(踏切南側) 調査開始

現地説明会へのみなさんのお越しをお待ちしています。



編集発行  
現地連絡先

浜松市埋蔵文化財調査事務所  
東原遺跡調査事務所

TEL485-3465  
TEL586-1233